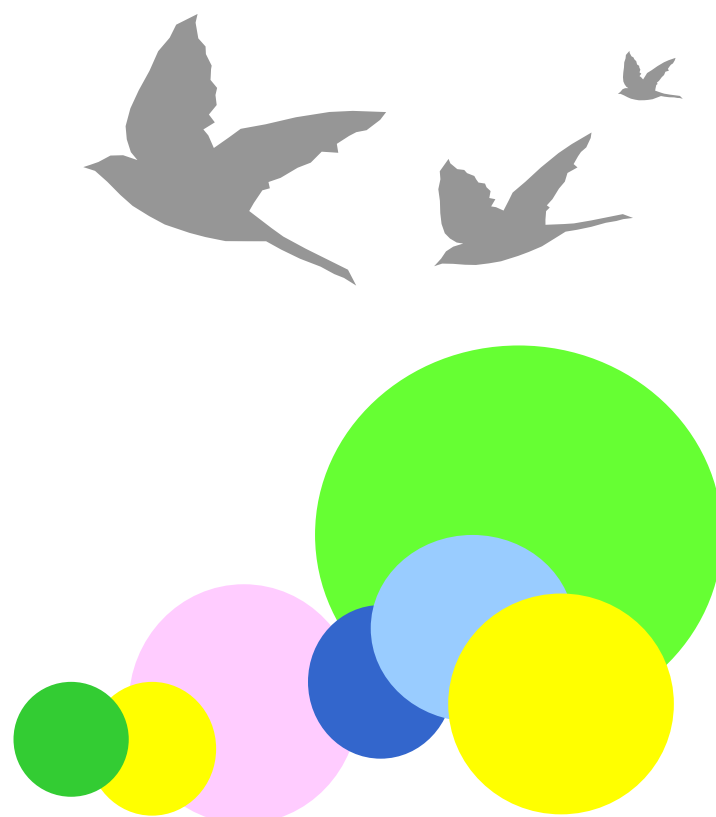


Membership Info.

ご案内

一般社団法人 保険者機能を推進する会

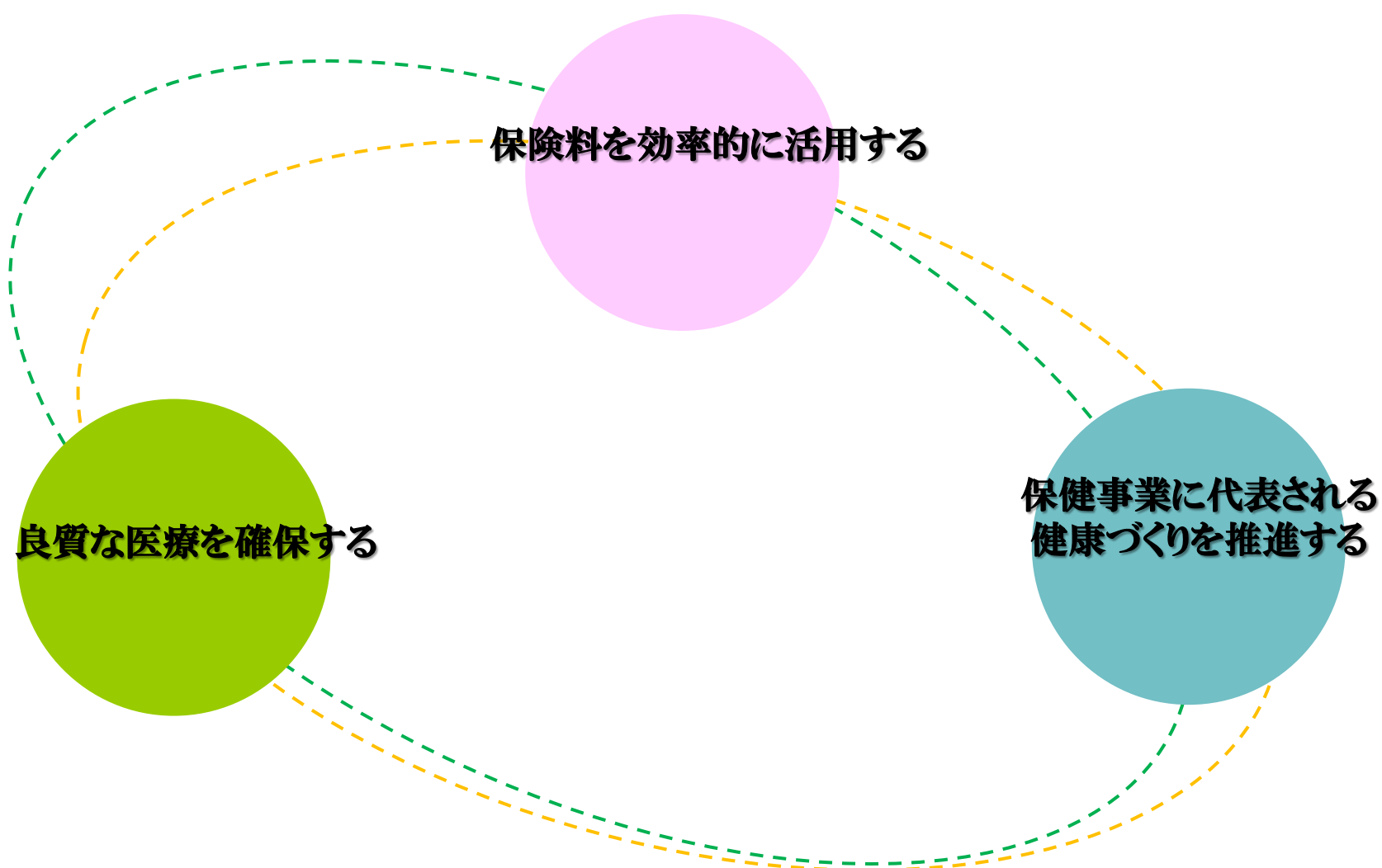




Purpose

目的

「保険者機能の原点」を追求します！



「保険者機能の原点」とは、被保険者・被扶養者のために上記三点に努めることであり、この実施・実現が保険者の使命です。
本会は、保険者自身が集い参画し、この保険者の使命の実施・実現のため、保険者機能の研究とその具体的方策の実行を目的とします。

この考えにご賛同していただける健康保険組合様のご加入をお待ちしています。ぜひ、一緒に活動しませんか！

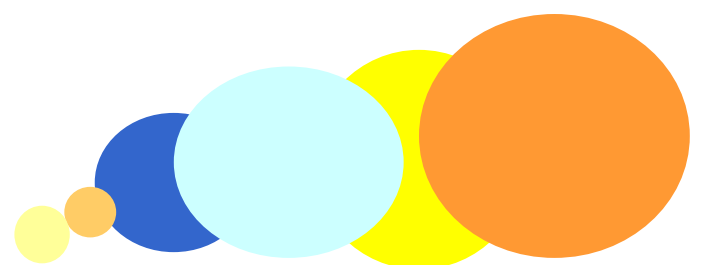
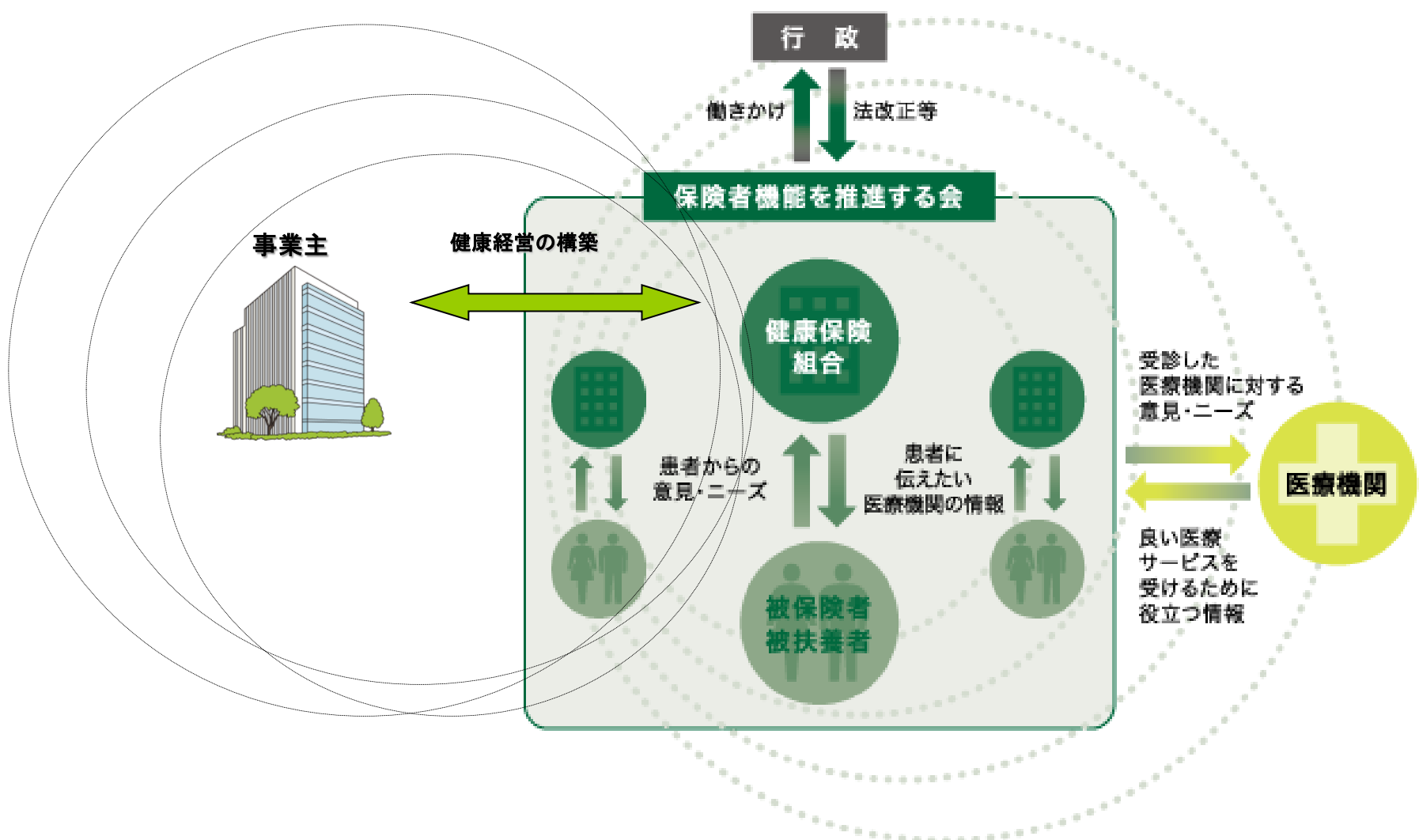


活動概要

- ◎健保の効果的な運営に向け、健康保険・保健事業などの情報共有
- ◎健保を取り巻くさまざまな課題に対しての研究・議論
- ◎関係機関への提案・提言
- ◎会員健保の幹部職員・一般職員の人財育成

少子高齢化社会の進行に伴う「医療保険改革」といった社会的課題に対し、政府をはじめ、経済界、労働界、研究機関、学識経験者などからさまざまな提案、提言がなされており、その多くが「保険者機能の強化」を強く求めています。

「保険者機能を推進する会」は、健康保険制度・健康保険組合を少しでも良くしたいという思いを持つ健康保険組合が「主体的に参画」し、保険者機能の強化に向け活動を行っています。





研究会活動

健康保険を取り巻く様々な課題のうち、自健保だけでは解決が難しいもの、協働することでより効果が見込めるものなどを持ち寄り、知恵を出し合って、議論のとりまとめや成果物を生み出す研究会活動を行っています。運営は各研究会の自主性を重んじ、参加者の中からリーダーを選出し、当該年度の目標成果物、活動方針を定めて進めます。対面・オンライン・ハイブリッドといった実施方法や開催頻度についても研究会の目的や事情に応じて定めています。参加者の知識の向上や人的ネットワーク形成の機会となるだけでなく、研究会活動結果の更なる充実につながるよう、全員が積極的に役割を担う参加型の活動を目指しています。

各研究会の活動結果は、推進する会会員健保の保険者機能の向上につながるよう、全国大会や成果発表会などを通じて共有をはかるとともに、小冊子にとりまとめ、健保連、厚労省など関係機関に内容を共有する予定にしております。2024年度の研究会テーマは以下のとおりです。

2024年度研究会テーマおよび参加条件一覧

【レセプト・健診データ分析研究会】

<テーマ>

全体テーマ：全参加提出の健保特定健診&特定保健指導データ分析

グループワーク：健診&レセプトデータ深掘り分析を通じて自健保実態を把握するとともに保健事業改善方法を検討

<参加条件>

- ・スキル、経験は不問（※但し、保健事業の経験者の方がより理解はしていただき易い）
- ・ハイブリッド開催となりリモート参加者はMicrosoft Teams利用が可能な方
- ・研究会の『全体テーマ』に必要な「特定健診の直近⇄5年前比較用データ」&「特定保健指導翌年変化分析ツール用データ」（いずれも個人情報なし）を作成いただける保険者

【健診事業のあり方研究会】

<テーマ>

がん検診と特定健診をテーマとして活動します。

がん検診は「職域におけるがん検診マニュアル」「第4期がん対策推進基本計画」に準じ以下3項目に取り組む。

- ・受診率向上対策
- ・がん検診の精度管理等
- ・科学的根拠に基づくがん検診の実施

特定健診はデータヘルス計画で多くの健保が課題と取り上げている被扶養者の受診率向上について取り組む。

<参加条件>

- ・目的意識を持って参加いただける方（運営委員を引き受けるくらいの意欲）
- ・事例発表や情報共有など自健保の活動について発信いただける方
- ・Microsoft Teamsを使用してオンライン参加可能な方（ハイブリッドが基本なのでリアル参加大歓迎）

【特定保健指導応用研究会】

<テーマ>

2024年度は、第4期 特定健康診査・保健指導の制度が、アウトプットからアウトカムを重視する大きな変化の初年度となる。当研究会ではコロナ禍でも継続していた情報収集（勉強会）により、特定保健指導プログラムのよりよい運用事例を収集・共有していく。また、研究会の本分である研究活動を再開する方向性を策定し、研究内容については、勉強会をつうじて得られた参加メンバーが真に課題と考えている事項に取り組む。

<参加条件>

- ・参加者一人一人に研究会運営の役割を分担いただくことになるので、その役割を主体的に推進できる方
- ・楽しみながら特定保健指導をよりよくしていくために積極的に参加・活動できる方

【女性の健康研究会】

<テーマ>

女性の健康に関し、専門家・研究者やFemtechの事業会社からの情報の取得や協働による研究、また他健保の成功事例等の共有などにより、研究会参加健保の課題の解決につなげていきたい。更には、その成果を推進する会参加健保にも共有することにより、推進する会全体へつなげていきたい。

<参加条件>

- ・研究会への参画を通じて、実現したい目的・目標がある方
- ・自身が研究会の運営を担う意気込みのある方

入会を検討される健保様には、研究会を見学していただくこともできます。

【シニアの健康研究会】

＜テーマ＞

シニア層のQOL向上に着目した健診項目の追加」に向けた政策研究をテーマに取り組みます

- ①シニア層向けの保健指導事例の共有と共同した取り組み（健康かわら版等を含む既存テーマ）
- ②シニア層のQOL（生活の質）向上に着目した「健診項目の追加」にむけた政策研究（新）

＜参加条件＞

- ・共に研究会を盛り上げていただける方なら特段のスキルや経験は問いません

【たばこ対策研究会】

＜テーマ＞

6つのプランをご用意しました。ご希望に合わせて気楽にご参加ください。（当日ご欠席の場合でも動画配信します）

- ①「基礎知識」習得プラン（全2回：6月・7月開催）
- ②「教育・啓発」「禁煙支援」ステップアッププラン（全3回：8月・9月・10月）
- ③「環境整備」ステップアッププラン（全3回：11月・12月・1月）
- ④「研究・分析」チーム活動プラン（6ヶ月間：7～12月）★研究テーマはタバコとレセプトの関係性分析を予定
- ⑤「外部交流活動」チーム活動プラン（不定期：6～1月）
- ⑥「職場のたばこ対策冊子」チーム活動プラン（不定期：6～1月）

＜参加条件＞

- ・Microsoft teams活用可能な方
- ・楽しみながら活動できる方

【療養費適正化研究会】

＜テーマ＞

- 療養費を取り巻く環境・実態の理解、把握
- 自健保における柔整療養費の正しい利用への啓発と分析
- 他健保との比較から理解する自健保での課題・問題点の抽出
- ◎柔整療養費の業務の流れの整理を行い、「業務フロー」の整理と適正化活動のポイントを纏めます

＜参加条件＞

- ・ハイブリッド型で研究会を開催しますが、参加出来る方は出来るだけ対面参加をしていただきたい
 - ・研究会は皆さん自身で作るものなので、積極的に参加・活動出来る方を求めます
 - ・「情報共有」を中心とした回では、参加メンバー皆さんに持ち回りで進行も発表も行っていただきます。他人の発表を聞くだけ・・・という方は参加をご遠慮ください。
- ★2024年度は試行的にいくつかの参加スタイルを設定します。ご本人の希望によって申し込みを受けますが、どのコースを選択するにも、まずは当研究会に参加登録をお願いいたします。

【扶養認定基準研究会】

＜テーマ＞

2024年度は、保険証廃止に向けた変革の年です。経過措置や加入者への通知等、国から様々な対応を迫られている現状です。これらの事象を研究テーマとして積極的に取り上げ、深掘りから情報共有まで幅広い活動を行っていきます。

＜参加条件＞

どなたでも参加可能ですが一部対面重視の活動があり、WEB参加者にはご不便をおかけする場合があります。

【マイナンバー研究会研究会】（新設）

＜テーマ＞

健康保険被保険者証の廃止、マイナ保険証への移行に向けて対応すべき諸問題の課題整理、意見交換を行い、それぞれの健保の将来に向けた工程表の策定や健保連・厚生労働省等への前向きな提言につなげる。会員健保に対してはアンケートの実施・分析や情報・事例等の共有をおこなうことを検討する。

＜参加条件＞

少人数でのクローズド形式とするため、参加者の新規募集は行いません。

【健康経営における評価のあり方研究会】（新設）

＜テーマ＞

健康経営度を見える化する目的で健康経営度調査が実施され、参加企業も年を追うごとに増えている。それと同時に、毎年評価する項目、指標の見直しが行われ、結果として、現在ではかなり広範囲な内容を回答する調査になっている。そこで、健康経営度調査の設問に求められている意味を理解すること、健康経営度調査項目への回答内容と点数の関係を整理したい。その整理の中で、健康経営度調査に必要な項目、不要な項目などを健保目線で考えたい。また、調査に必要な項目が”日本で事業を行っている企業の評価”がなされる調査項目内容になるように考えてみたい。

＜参加条件＞

少人数でのクローズド形式とするため、参加者の新規募集は行いません。

入会を検討される健保様には、研究会を見学していただくこともできます。



シンポジウム・講演会・研修会事業

1. 常務理事ネットワークの会

「常務理事の役割、活動とは具体的に何だろうか、どうすることなのだろうか」との課題を抱えながら、活動している皆さまの助けになればと、2023年度まで、コラボヘルスやコンプライアンス、健保運営などを題材として、グループ討議を中心とした常務理事ゼミナールを開催してきました。これらから見えてきたのは、常務理事の皆さまにとって、常務理事間で構築したネットワークが、健保活動を検討する際に有効に機能するとの認識です。

そこで、2024年度からは、常務理事ゼミナールを「常務理事ネットワークの会」と名称を改め、新たにスタートを切ることとしました。

参加資格は原則、常務理事とし、経験年数は不問です。

皆さまの日々の業務課題解決に役立ち、活動の充実になることを目標に、時節の課題なども取り上げていく予定です。是非、積極的なご参加をお待ちしております。

2. 事務長ネットワークの会

事務長間のネットワーク構築を目的として、年2回ハイブリッド形式（対面＋オンライン）で開催します。対面参加が難しい場合でも、オンラインでネットワークを構築することが可能です。

自主的に運営を支援する事務長がテーマを決定し、少人数のグループに分かれて、議論や情報共有をおこないます。

3. 医療保険制度ゼミナール

「医療保険制度ゼミナール」は、2024年度で10年目を迎えた活動です。

当会の基本理念である「保険者機能を推進する」を基軸に、保険者を取り巻く7ステークホルダー（政治・行政、保険者・医療提供・患者団体・アカデミア・メディア等）に講演を依頼し、それを通じてバランスのある提言感覚ができる保険者を育てることを目指しています。

対象は健保のマネジメント層（理事長・常務理事・事務長・役職者等）としていますが、保険者の機能発揮に課題や疑問を感じる職員も対象範囲としています。

講演においては、参加者に資料の事前読み込みと疑問点の明確化をお願いしており、深い情勢理解を伴って参加できるような形にしています。また一方通行の講義でなく質疑・ディスカッションの時間を十分にもうけ、講演会の参加者が一体となって意見を交換しあうことでより重層的・多面的な見方を身に着けることを狙っています。

●2023年度は年2回（Web/ハイブリッド講演会）の活動を行いました。

- ・『ヘルスケア政策の現状と今後の方向性』（行政）＜Web＞
- ・『社会保障から見た終末期医療のあり方と安楽死という国民的選択』（医療提供）＜ハイブリッド＞

●2024年度（Web開催）

具体的な日時・講演内容は未定ですが、年3回のWeb開催を予定しています。

引き続き、多彩なステークホルダーを組み入れて広くディスカッションすることで、会員健保の提言につながるような活動を展開予定です。



4. 基礎知識研修会

基礎知識研修会は、一般職員を対象とし、事業運営の参考にしていただくために、オンラインで参加者同士による議論・情報共有をおこなっています。

オンラインでの実施は、遠方からの参加や多忙な方の参加も容易になります。

これまでは、保健事業や業務効率化などにおいて先進的に取り組まれている健保様の事例共有や推進する会プロジェクトの成果発表などを年2回程度実施してきましたが、今後は、研究会の活動を支援いただいている有識者による勉強会なども実施していく予定です。



第12回 保険者機能推進全国大会

開催日:2024年11月20日(水)
開催場所:東京都千代田区 星陵会館

第11回全国大会(2023年11月23日)の概要 「保険者が共創する未来」

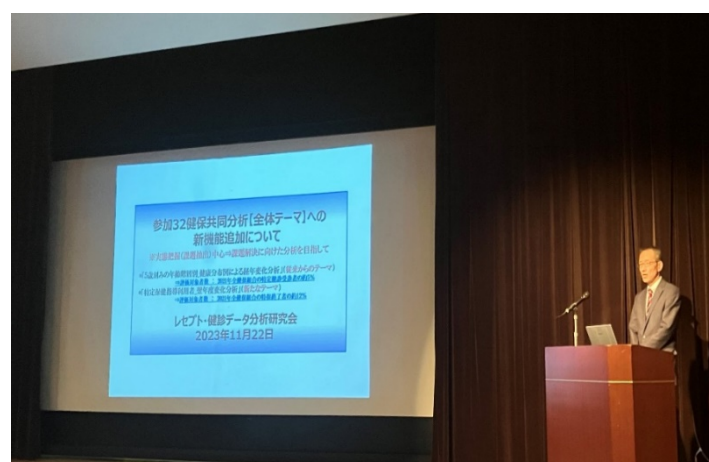
第11回保険者機能推進全国大会を、2023年11月23日にハイブリット開催いたしました。

基調講演として、PwCアドバイザリー合同会社Deals Strategy部門ディレクター西田 雄太先生より「データ・デジタルが変える日本の医療の未来」という演題にてご講演をいただきました。

また、後半では、レセプト・健診データ分析研究会、療養費適正化研究会、扶養認定基準研究会より活動経過や活動成果の発表、特定保健指導応用研究より活動報告を行いました。



西田雄太先生の基調講演



研究会により成果発表の模様

ご案内

会 費

被保険者数	正会員 年会費
5千人未満	11万円
5千人以上1万人未満	13万円
1万人以上2万人未満	15万円
2万人以上5万人未満	17万円
5万人以上	19万円

※年度（4月から翌年3月）途中の入会の場合は、会費は月割計算（千円未満切捨）した金額になります。
※健康保険組合の都道府県連合会およびその下部組織、ならびに健康保険組合以外の保険者および団体等については、準会員として入会することができます。準会員の会費は被保険者数により3万円～11万円、被保険者0人は11万円です。

アクセス



会員一覧

IHIグループ、アクサ生命、アクセンチュア、味の素、azbilグループ、アフラック、イオン、石塚硝子、エーザイ、SMBC日興証券グループ、SGホールディングスグループ、FR、FWD生命保険、MSD、大塚製薬、オートバックス、小田急グループ、オリンパス、花王、カシオ、協和キリン、麒麟ビール、近畿日本ツーリスト、グラクソ・スミスクライン、栗田、計機、KDDI、国際興業、コスモスイニシアグループ、コニカミノルタ、小松製作所、鷺宮、サッポロビール、C&Rグループ、シーイーシー、CNCグループ、ジェイアールグループ、JNC、資生堂、シナネン、ジャックス、住友不動産販売、全日本空輸、ソニー、第一三共グループ、大正製薬、太陽生命、大陽日酸、大和証券グループ、武田薬品、TDK、D I C、ディスコ、デンソー、東京海上日動、東京ガス、東芝、T O T O、TOPPANグループ、トピー、豊田通商、トラスコ中山、トランス・コスモス、ニコン、ニチレイ、日産自動車、日新製糖、日本アイ・ビー・エム、日本航空、日本コロムビア、日本事務器、日本製鉄、日本ゼオン、日本発条、日本ヒューレット・パッカート、日本マクドナルド、日本旅行、ノバルティス、野村證券、パイオニア、博報堂、パナソニック、阪急阪神、BIJ、PHC、PwC、日立、日立建機、ファイザー、フジクラ、富士通、富士フイルムグループ、ブリヂストン、プレス工業、ポーラ・オルビスグループ、ボッシュ、丸井、三越伊勢丹、三菱、三菱ケミカル、三菱重工、三菱商事、三菱電機、三菱UFJ証券グループ、三菱UFJニコス、明治安田生命、明電舎、安田日本興亜、山崎製パン、ヤマトグループ、ヤマハ、雪印メグミルク、リクルート、レンゴー、ロイヤル、ローソン、健康保険組合連合会京都連合会

117会員 【2024年6月1日現在】

入会を希望する、または質問のある健保様はお気軽に事務局へご連絡ください

〒101-0036 東京都千代田区神田北乗物町1 1 番地 乗物町第一ビル 4 階
電話 03-5577-5411 F A X 03-5577-5413
e-MAIL hokensha@kino-suishin.org
ホームページ <https://www.kino-suishin.org/>

Copyright (C) 一般社団法人 保険者機能を推進する会 All Rights Reserved. 無断転載禁止